

令和4年度 総体壮行式

令和4年5月27日（金）SHR

放送（録音）

おはようございます。

いよいよ5月28日から、「香川県高等学校総合体育大会」が始まります。ここ2年間は、中止や無観客での開催でしたが、今年度は、制限はあるものの有観客での開催となります。コロナ禍での新たな形での開催となるようです。また、7月23日からは四国4県を会場として、全国高校総体が開催されます。その記念すべき年に、皆さんが日頃の練習の成果を遺憾なく発揮してくれることを願っています。

本校からは、7種目の団体参加、そして参加総数122名の選手が各競技に臨むことになります。これから試合に臨む選手の皆さんに贈りたい言葉があります。「**成し遂げることができずとも、自分なりにやり遂げることはできた**」～これは、北京オリンピックに出場し、思うような結果を残すことはできなかったスピードスケートの小平奈緒の言葉です。怪我やプレッシャーで心身ともに苦しめた小平さんは目の前の事にどう向き合うべきかを考え、「目の前のことから逃げずに。向かうことで見えてくる未来もきっとある」と語っています。

選手の皆さん、ともに汗を流してきた「**仲間たちを**」、そして、ともに歩んできた「**顧問の先生やコーチを**」、そして、何よりこれまで練習に取り組んできた「**自分自身を**」信じて、目の前の試合に臨んでください。その先には、きっと「**やり遂げることはできた**」と思える自分がいるはずです。

生徒、保護者、教職員、飯山高校の関係者すべての人たちが、皆さんを応援しています。頑張ってください！